

## 『どうやって捕まえようかな?』 2歳児 10月



### 保育者の思い

### エピソード

保育者のところに一目散に駆けてきて、大きな声で「先生! カマキリいた!」と言いに来たA児。A児と一緒に走って見に行くと、ゆらゆら橋の前にいた子ども達の視線の先にカマキリがいました。A児はカマキリをじっと見つめ、捕まえようと恐る恐る手を伸ばしますが、すぐに手を引っ込め、こわごわした表情でカマキリを見つめます。少して、A児は「先生捕まえて!」と言いました。保育者が、A児と同じように少し手を伸ばして、「捕まえたいけど、先生ちょっと怖いかな...どうしよう?」と言うと、A児は保育室の方に走り、ペットボトル製のお散歩バッグを持ってきました。そのままバッグをそーっとカマキリに近づけますが、なかなかカマキリは動きません。その様子を見ていたB児がその場から急に走り出し、手作りの虫捕り網を持ってきてカマキリに網をそーっと近づけると、カマキリがゆっくりと網の上に乗ってきました。B児は少し驚いたような表情で、その網を保育者の方に向けました。保育者が「やったね!捕まえられたね!」と拍手すると、B児ははにかみ小さな声で「つかまえた」と呟きました。

虫に興味を持ち、捕まえたり見たりすることを楽しんでいるA児。普段はなかなか見かけないカマキリを見つけた嬉しさを急いで伝えて来てくれたんだろうな。A児の思いに応えたい。

捕まえたいけど、直接触るのは怖いのかな?この後の動向を見守りたい。

捕まえるのは簡単だけれど...自分で捕まえられた方がきっと嬉しいだろうな。

手で直接触らなくても捕まえられる方法をA児なりに考えたんだな。

B児も捕まえたいと思っていたんだな。今までの虫捕りの経験から、虫捕り網なら捕まえられると考えたのかな?

B児:自分で捕まえられた喜びを十分に感じてほしい。  
A児:B児が捕まえる様子を見てどんな気持ちだったんだろう...?

見つけたカマキリを保育者が捕まえるのではなく、子どもの思いに寄り添いながら見守ることで、A児・B児なりに思いついた方法を行動に移す姿に繋がり、子ども達の成長を感じました!

### 子どもの育ちや学び

- ・身近な生き物に興味を持って、見たり触ろうとしたりする。
- ・カマキリを見つけた驚きや嬉しさを、保育者に言葉や指差しで知らせる。
- ・捕まえたい、でも手で触るのは少し怖いという葛藤の中、どうすれば自分で捕まえられるかを自分なりに考えて散歩バッグを取りに行く。
- ・友達と保育者のやりとりを見て、自分なりに捕まえられる方法を考えて網を取りに行く。
- ・自分で捕まえられたという喜びが、自信に繋がっているのではないか。

### 家庭だったら...

ご家庭でも、何かうまくいかないことがあった時、子どもの葛藤が見える時など、子どもの「やってほしい!」という思いに応えたり、時には「どうしよう?」と投げかけ見守ったりしてみませんか?子どもなりの思いや新たな考えが見えてくるかもしれません。